

周防大島町の話題

ごみの分別の必要性を再認識

9月21日、「ごみの分別って役に立っているの？」をテーマに、周防大島町環境センターの見学会が行われ、町内で地球温暖化防止活動に取り組んでいる推進員と住民の方の参加がありました。

見学会では、施設設備の説明を受けながら収集されてきたプラスチック類や金属ごみなどがどのようにリサイクル（再資源化）されているかを確認しました。また、見学会後には、ごみの出し方や収集方法などについて意見交換が行われました。

環境センターは、リサイクル施設に一般廃棄物の最終処理場を併設した施設になっています。皆さんがごみ収集日に分別して出している、プラスチック類や金属ごみなどは、環境センターを経由しリサイクルされ、

新たな製品として循環しています。限りある資源を有効に活用するためにも、今一度、ごみの分別の必要性と重要性について考えてみませんか。



▲環境センター職員から施設の設備等の説明を受ける、参加者と藤本町長



▲市場に向けて出荷される山口大島みかん

山口大島みかんの出荷はじまる

9月24日、山口大島みかんの初荷選果が、JA山口県周防大島柑橘選果場で行われました。

今年は、梅雨時期に降雨が少なく、8月中旬の大雨で防除や摘果作業等に生産者の苦労はありましたが、その後は好天が多く、ほどよく酸が抜けて糖と酸のバランスのとれた美味しいみかんに仕上がっています。

今年産は、正果で4,200トンの出荷を見込んでおり、県内や京浜、長野、福岡の市場に向けて出荷されます。

老朽化によりP S - 1 撤去へ

なぎさパークの陸奥野営場に展示されている対潜哨戒飛行艇P S - 1が老朽化により撤去されることとなりました。

P S - 1は、海上自衛隊岩国基地から退役した1機を旧東和町が1988年から無償で借り受け、展示しています。現存する同型機は2機で、そのうちの1機が唯一、陸奥野営場にて一般公開されています。

解体および撤去作業は、11月ごろからはじまる予定となっています。



▲老朽化により解体および撤去が決まったP S - 1